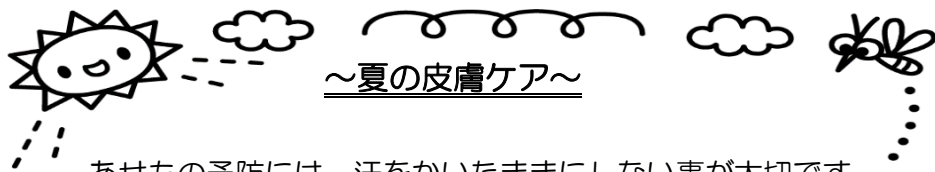


令和4年 7月
 社会福祉法人えどがわ
 西小岩おひさま保育園

『夏に流行する小児の感染症について』

水遊びが気持ちの良い季節となりました。夏は、スイカを食べたり海やプールでの水遊び等、楽しい事が沢山ありますね。



あせもの予防には、汗をかいたままにしない事が大切です。

シャワーを浴びるのが理想的ですが、出来ない時には着替えたり、清潔なタオルで拭いたりしましょう。

又、蚊等に刺されたら、すぐに流水で洗い、薬を塗ると痒みが強くなりません。どちらもかき壊すと、とびひになる事が

あるので早めのケアが大切です。



7月の予定

●7月12日(火) 夏祭りに参加しよう

●7月26日(火) ホールで遊びましょう

	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱(プール熱)
主な症状	口の中、手のひら、足の裏などに、発しんや水疱ができます。あまり高い熱は出ません。重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。	突然の高熱で発症し、口の中の奥の方に水疱や潰瘍ができます。	発熱、咽頭炎(のどのはれ)、結膜炎(目の充血)などの症状があらわれます。
原因ウイルス	エンテロウイルス属のウイルス (コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等)		アデノウイルス
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染 水疱の内容物や便の中のウイルスが、手を介して口や眼などの粘膜に入ることによる経口及び接触感染 		<ul style="list-style-type: none"> 飛まつ感染 接触感染 感染力が強く、プールや温泉施設などでの感染もあることから「プール熱」とも呼ばれています。
治療	つらい症状をやわらげる対処療法が中心です。ワクチンや特効薬はありません。		対処療法と、眼の症状が強い場合は眼科での治療を行います。ワクチンや特効薬はありません。

・引き続き、コロナ感染にも注意してまいります。